

平成29年度 社団法人  
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

# 各研究班精度管理調査結果報告

---

病理検査

片桐 恭雄（岐阜大学医学部附属病院）



<Gifu>Association Medical Technologists

## 【はじめに】

- 病理検査における精度管理は日常業務のレベル向上や知識習得を目的として行っている。
- 平成29年度は特殊染色をテーマとし、基本となる日常の特殊染色とその知識についての精度調査を行なった。

## 【サーベイ概要】

- 実施項目 特殊染色
- 指定内容 HE染色, 特殊染色の実施と考察
- 材料 FFPE未染色標本

参加施設 18施設

## 【実施手順】

1. 申し込み施設に未染色標本3枚, 設問及びアンケート用紙を送付.
2. まずHE染色を各施設で行い, 標本を観察. 診断に必要なとなる特殊染色を考察. 設問解答用紙に記載された設問に解答する.

特殊染色が準備できない施設はここまでで終了.

3. 診断に必要なとなる特殊染色1種類を実施, 特殊染色の方法を設問用紙に記載. HE標本, 特殊染色標本, 未使用の未染色標本, 解答用紙, アンケート用紙を返送.

## 【評価項目】

設問1	(1—0点)
設問2	(1—0点)
設問3	(1—0点)
設問4	(1—0点)
設問5	(1—0点)

## 【総合判定・評価について】

### 判定A・評価○

目的を十分に達している.

(合計5点)

### 判定B・評価○

目的を達しているが改善の余地がある.

(合計4点)

### 判定C・評価△

病理診断に支障をきたす可能性がある.

(合計3点)

### 判定D・評価×

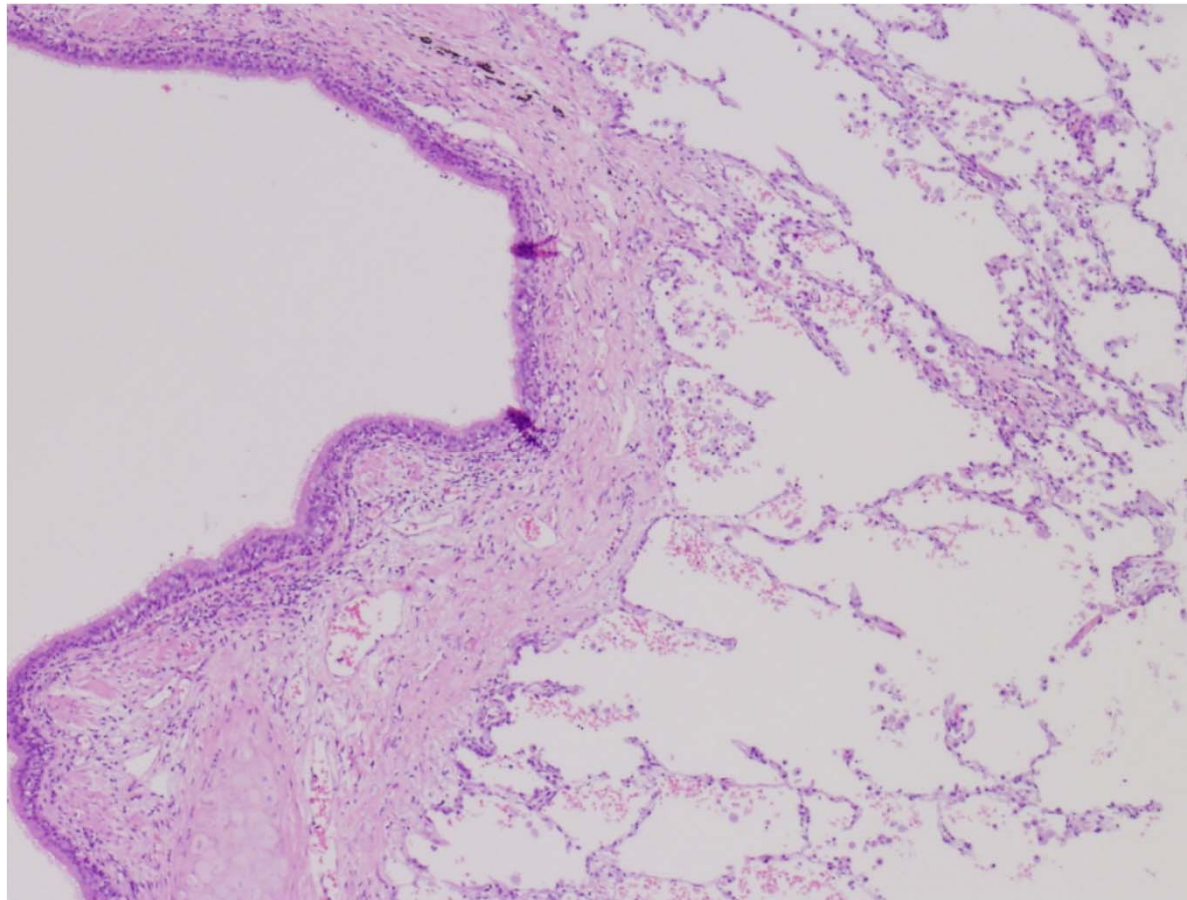
病理診断に支障をきたす可能性が十分にある. (合計2点以下)

## 【結果】

判定	A	B	C	D
評価	○	○	△	×
施設数	15	3	0	0
	83.3%	16.7%	0%	0%
	100%		0%	

## 設問1

この標本上の組織はどこ臓器か。





# 肺

正答率:100%

## 設問2

設問1で解答した理由

(我々は何故、肺と回答したのか)

- 肺胞, マクロファージ, 炭粉沈着, 気管支軟骨, 線毛円柱上皮細胞が観察されたため.

一番多かった回答

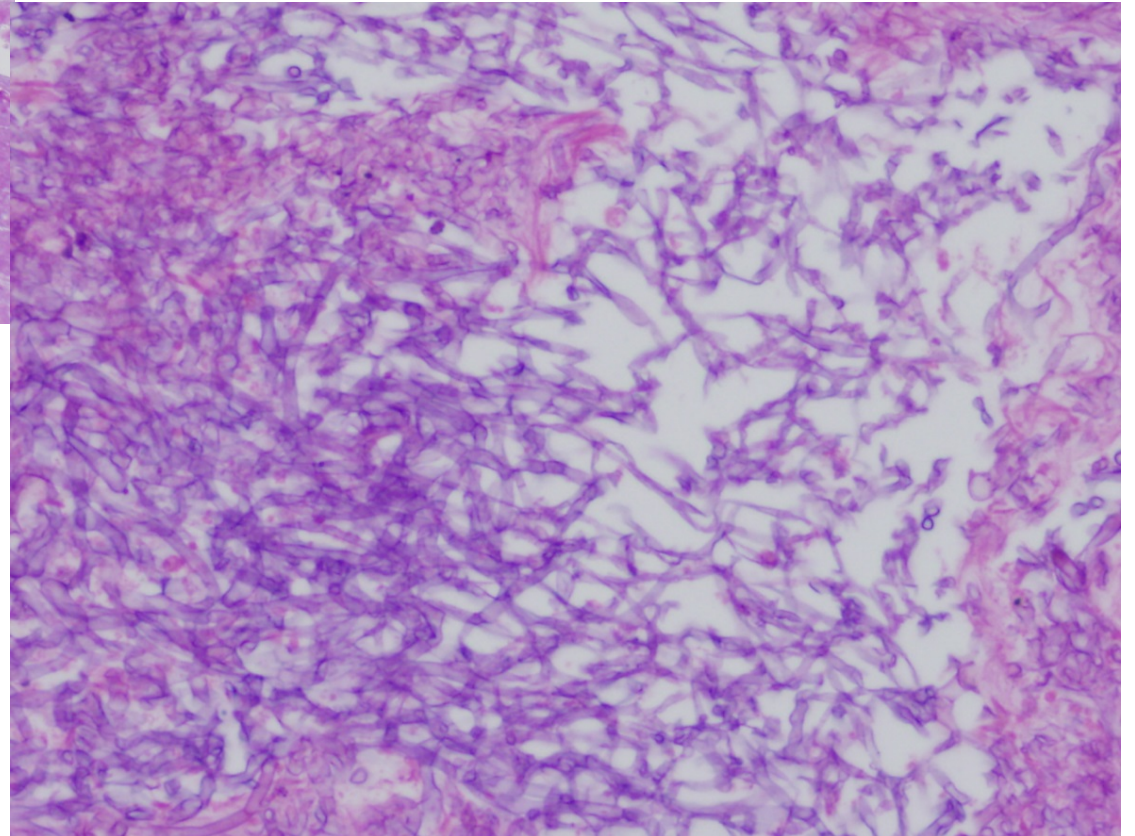
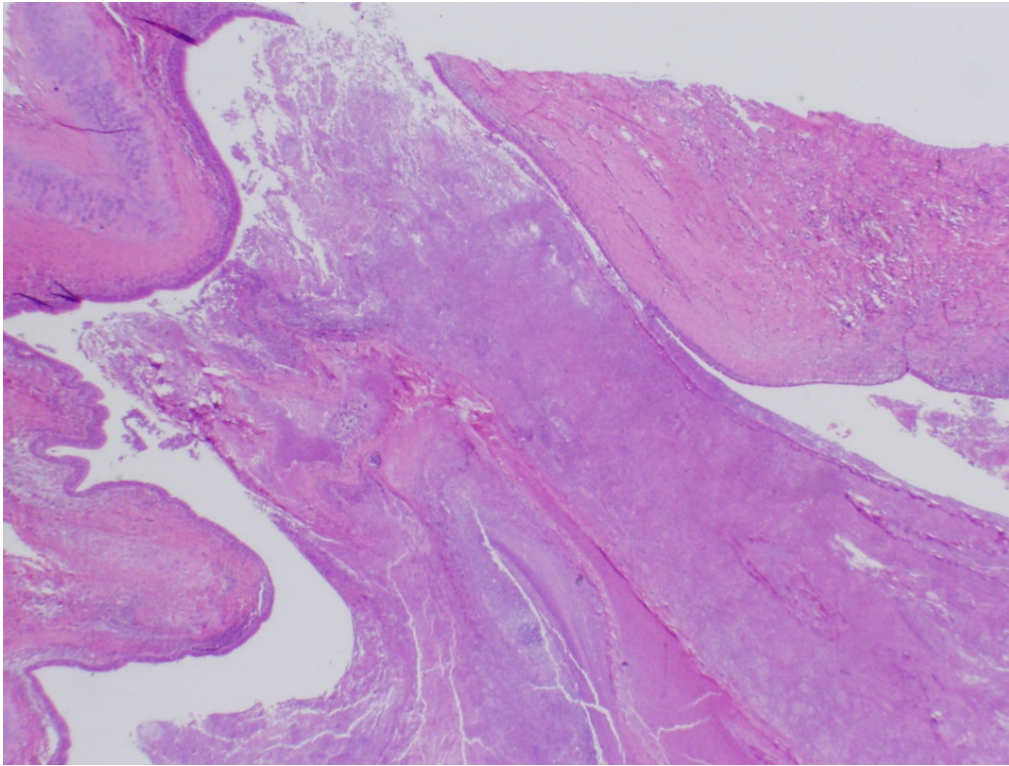
# 肺胞構造

## 設問3

標本上には病変が観察される。いかなる病変か，選択肢から近いものを1つ選んでください。

1上皮性悪性腫瘍，2非上皮性悪性腫瘍，3アミロイドーシス，4サルコイドーシス，5心筋炎，6粥状硬化症，7血栓症，8抗酸菌感染症，9真菌感染症，10梅毒，11肺胞蛋白症，12IgG4関連疾患，13アカラシア，14メッケル憩室，15ループス腎炎，16マラコプラキア，17胞状奇胎，18アリアステラ反応，19ケラトアカントーマ，20プリオン病，21アルツハイマー症，22多発性骨髄腫，23痛風，24肝硬変，25ヒルシュスプルング病，26日本住血吸虫症

# 各部門 精度管理調査結果報告(病理検査)



真菌感染症	15施設
抗酸菌感染症	3施設

真菌感染症	15施設
抗酸菌感染症	3施設

設問4  
設問3で解答した理由



菌糸が認められる 15施設

乾酪壊死, ラングハンス型巨細胞,  
類上皮細胞が認められる 3施設

## 設問5

診断に必要と思われる(第一選択とする最適な)特殊染色を1つ挙げ、期待される染色態度を記載してください。

グロコット染色	14施設
PAS反応	1施設
チールネルゼン染色	3施設

設問6(評価外項目)

設問5で解答した特殊染色法以外の特殊染色法(第二選択および第三選択候補)を挙げてください。

PAS反応

チールネルゼン染色(否定目的)

グロコット染色

グリドリー染色(クロム酸シッフ)

蛍光染色(抗酸菌)

今回のサーベイの難易度はいかがでしたか？

簡単だった	4施設
難しかった	4施設
ちょうど良い	10施設

## 特殊染色の必要性は誰が判断，依頼していますか？（複数回答可）

基本的には病理医が依頼するため，技師の単独判断はない。  
13施設

検査技師が必要だと判断できれば病理医を介さずとも実施できる。  
9施設

臨床からの依頼があれば病理医を介さずとも実施できる。  
6施設

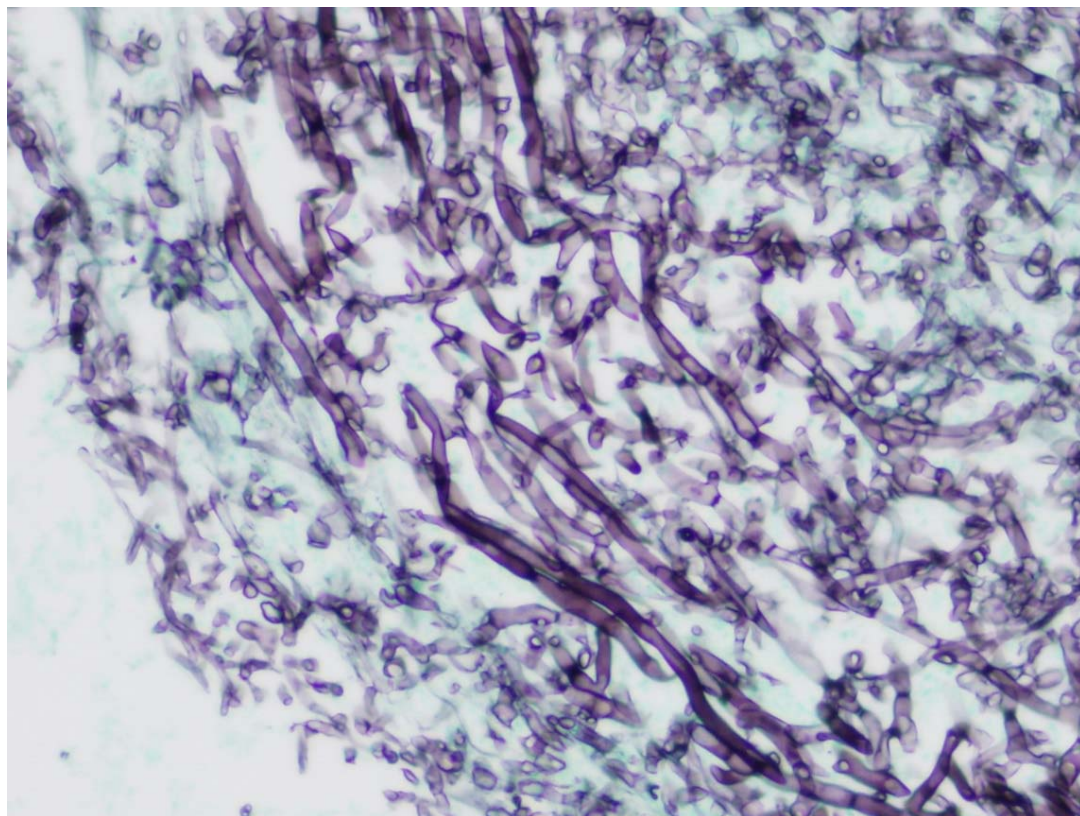
# 実技

実施した特殊染色：\_\_\_\_\_染色

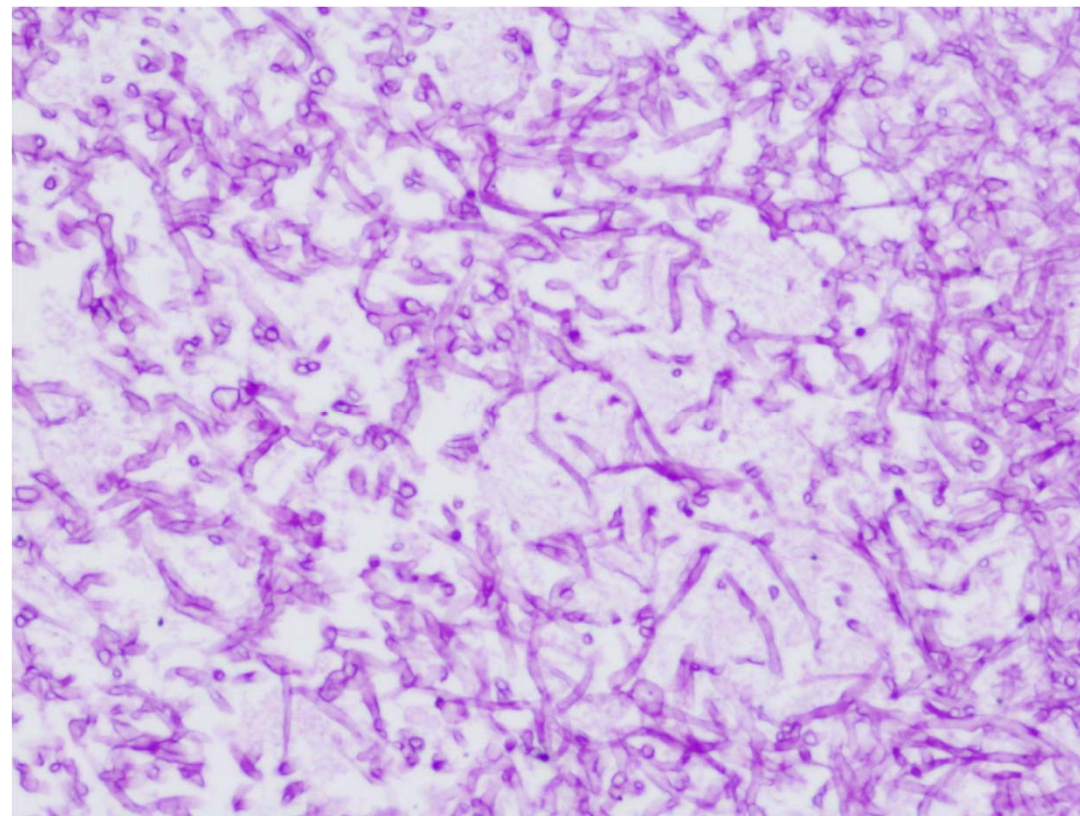
グロコット染色	13施設
PAS反応	2施設
チールネルゼン染色	1施設



## 各部門 精度管理調査結果報告(病理検査)



グロコット染色



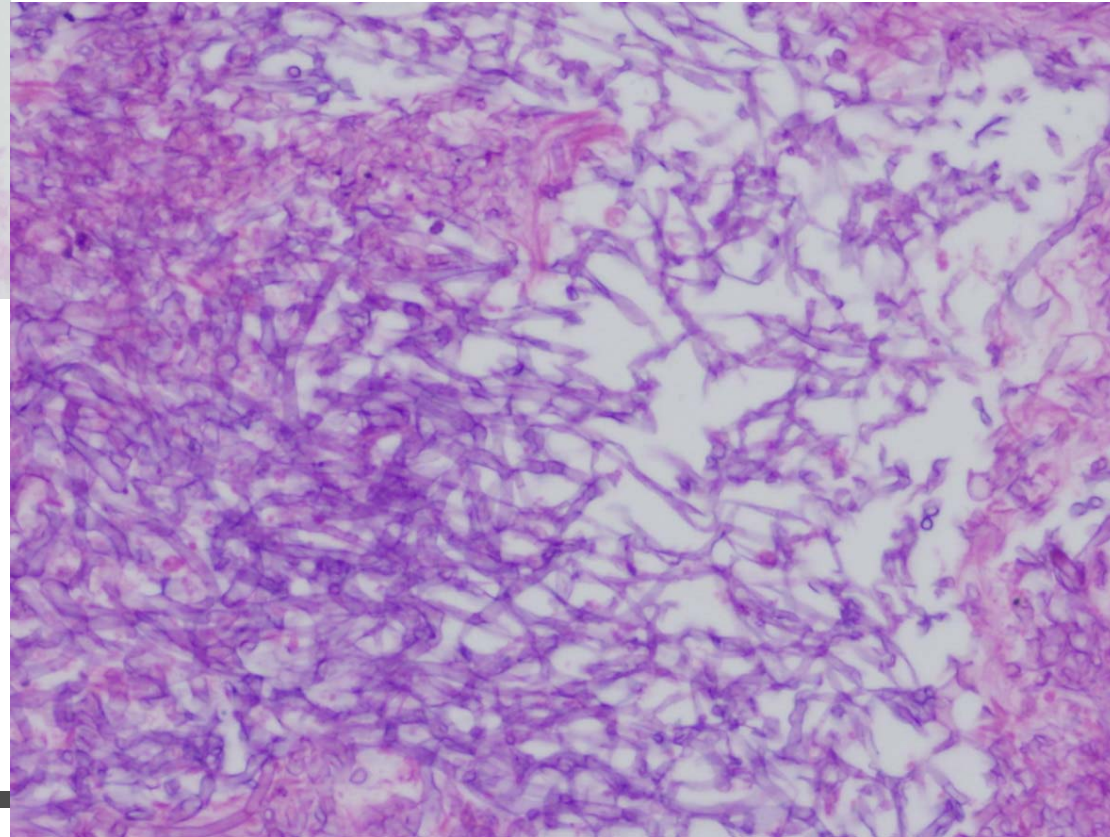
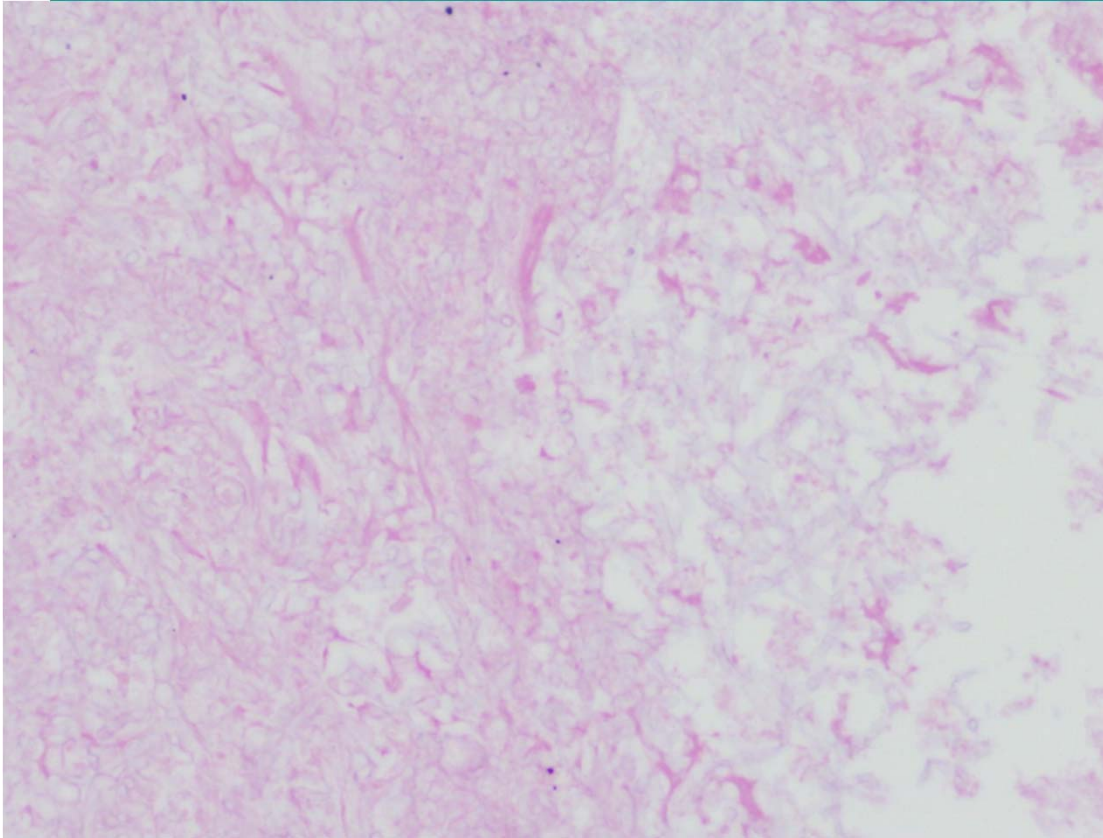
PAS反応

## 特殊染色アンケート

今回の標本はややホルマリン過固定のため、染色が難しい傾向にあります。貴施設の日常と比較していかがでしたか？

普段と何も遜色ない	8施設
染色性が低下している	6施設
普段より良く染まる	

御施設のHE染色  
真菌は確認できますか？



## 【特殊染色サーベイまとめ①】

- 参加18施設中，A判定15施設と良好な成績であった。(評価○としては全18施設)
- 設問1で臓器を間違えた施設は即D判定と考えていたが，該当施設は無かった。
- 今回は肺の真菌感染症を提示した。HEの所見から抗酸菌感染症を選んだ施設があったが，鑑別として挙げるのは必要であると考えられるため，その施設には口頭で真菌感染症を鑑別に考えたかどうかを質問し，第2候補として考えたと回答を得た。問題なしと判断しB判定とした。

## 【特殊染色サーベイまとめ②】

- 細菌，真菌感染症の所見において，壊死，多核組織球の出現は頻度が高く，それだけで答えを出すのは危険である。
- 各施設のHE染色を観察したところ，真菌が見やすい施設と見にくい施設があり，HE染色がこの精度管理調査の結果を左右する要因であることが認識できた。そろそろ本格的なHE染色標準化を目指す行動が必要になりそうである。

## 【次回の精度管理調査について】

- 精度管理調査項目を毎年変更して参りましたが，今年度の実施内容をベースにして，安定させていけたらと考えています.
- 調査内容を確定次第，今年度と同様に研修会で予告をしていきたいと思ひます.
- 来年度も今年度以上の参加をお願いいたします.